

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和8年3月31日

事業所名 上尾市児童発達支援センターつくし学園(職員43名)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	39	4	<ul style="list-style-type: none"> ・国の基準を満たしています。1日あたり70名以内となるよう調整し、スペースの確保に努めています。 ・園庭の使用については、保育所と話し合いながら進めています。
	②	職員の配置数は適切であるか	40	3	<ul style="list-style-type: none"> ・法令の基準(お子様4名につき職員1名の体制)以上の職員を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	41	2	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援等のツール(ティーチなど)や手段(身ぶりなど)を用いて、見通しをもちやすくするなどの工夫をしています。
業務改善	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	43		<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面での配慮に努めます。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	37	6	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日振り返りの時間を設け、目標設定や関わりが適切であったかチームごとに話し合っています。また、定期的にケース検討を行い、支援方針などを職員間で確認、共有をしています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	41	2	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回実施し、業務改善につなげています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	42	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回実施し、年度内に公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	38	5	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より実施します。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	42	1	・職員研修の開催、研修受講した職員が、職員会議等でフィードバックを行い、職員全員の資質向上に努めています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	43		・半年ごとのアセスメントの他、おやこ登園や送迎時などに相談をいただいた内容等も含め、保護者様の意向を確認し、児童発達支援計画を作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況確認のために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40	3	・遠城寺式発達検査等やセラピストのアセスメントをもとに、お子様の発達段階を確認、共有し、より適切な支援を提供できるよう努めています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	41	2	・保護者様にご意向を伺った上で、チームで個別支援会議を開催し、その意向に沿うような支援内容の作成に努めています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	42	1	・保護者様とご相談の上作成した児童発達支援計画に基づいて、お子様の発達段階を踏まえた支援を行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	42	1	・プログラムはクラスごとのチームにより、日々の取り組みを考え行っています。 ・時期を確認しながら、年齢別や合同での取り組みを工夫しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	43		・様々な経験が出来るよう、ねらい・目的を持ち、日々の積み重ねを大切にしながら、見通しをもって取り組む力をつけられる内容を提供できるように工夫しています。 ・保育所との交流(合同・クラス)を取り入れる工夫をしています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	40	3	・個々の発達段階に合わせた支援、小集団の活動をとおり、友達を意識していくことにつながるような支援を組み合わせる児童発達支援計画を作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	43		・毎朝チームミーティングをし、その日の取り組みについて確認をして、お子様を迎えています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	37	6	・降園後、お子様の様子や変化、気付いた点についてチームで共有しています。また、日誌や会議録、引継ぎノートなども活用し、お子様の状況を共有しています。

					・専門相談を受けた日は、専門職員との振り返りの時間を取り、支援につなげています。
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	42	1	・お便りノートの他に毎日の振り返りも記録(クラス日誌)するようにし、支援の検証・改善に努めています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	43		・半年ごとのモニタリングにて、児童発達支援計画の目標について、見直しや継続の判断を保護者様と行っています。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	42	1	・相談支援専門員の招集を受け、児童発達支援管理責任者とチーム職員が会議に参画しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	42	1	・必要に応じて、関係機関と連携し、支援を行っています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	41	2	・必要に応じて、主治医ほか関係機関と連携し、支援を行っています。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	40	3	・医療的ケアは、主治医からの指示書に基づいて実施しています。また、保険証の写しをいただき、緊急時、保護者様と連絡が取れない場合にも受診対応できるようにしています。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	42	1	・保護者様の同意の上で、情報の提供・共有をさせていただいています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	42	1	・保護者様の同意の上で、情報の提供・共有をさせていただいています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	37	6	・県などが主催する研修に参加し、職員の研鑽に努めています。必要に応じて、保護者様の同意の上で、併用している他の事業所に赴き、連携を図っています。

保護者への説明責任者等	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	43		・市立の保育所における交流を行うことが出来ました。また、複合施設の特性を活かし、季節行事や園庭あそび等、日頃より交流を図っています。
	㉑	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	34	9	・上尾・桶川・伊奈地域自立支援協議会のこども部会、医療的ケア児部会にメンバーとして参加しています。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	43		・お便りノートだけでなく、おやこ登園や送迎時も保護者様とお話させていただく大切な機会と考えています。保護者様が必要なタイミングでお話しいただけるよう、相談しやすい雰囲気や体制づくりに努めてまいります。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	38	5	・ペアレント・トレーニングのような体系的なプログラムは導入しておりませんが、おやこ登園でお子様のお身辺自立や適切ななかかわり方、小集団での生活の積み重ねによる成長を、保護者様と職員で共有できるよう支援を行っています。
	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	41	2	・入園する際に重要事項説明書ほか関係書類を提示のうえ、ご説明させていただいています。限られた時間となり大変申し訳ございませんが、丁寧な説明に努めてまいります。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	43		・アセスメント、モニタリングの中でのお話をもとに、保護者様の意向に基づき児童発達支援計画を作成し、確認していただき、同意を得て支援を行っています。
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	43		・半年ごとのモニタリング以外にも随時お便りノートやおやこ登園時にご相談に応じ、発達面や子育てに関する助言と支援を行えるよう努めています。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	41	2	・プレールの会の活動については主体性を尊重しつつ、場所の提供や求めがあった場合にご協力させていただいています。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	42	1	・相談や申し入れには可能な限り、速やかに対応できるようにしています。
㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	42	1	・毎月カリキュラムと園だより『ひろば』を発行し、行事の際には別途詳細を載せたお知らせを発信配信しています。	

非常時等の対応	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	43		・職員は個人情報の取り扱いに十分注意し、関係書類も施錠環境での保管を行っています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	43		・可能な限り合理的配慮の視点に基づいた支援を心がけ、例えば視覚支援が有効なお子様には絵カードなどを活用したり、聴覚障害のあるお子様には簡単な手話を用いるなどの個別対応を実施しています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	42	1	・地域住民の方に、行事の周知を実施いたしました。また、インクルージョンの推進の一環として、地域の方々との交流の場を設定しています。 ・特別支援学校と連携し、生徒の方にお手伝いいただき、一緒に地域の方との交流の取り組みを実施しています。
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	43		・必要に応じて各マニュアルの見直しを行っています。有事に備え、引き渡し訓練など継続的に実施してまいります。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	43		・毎月火災や地震など様々な状況を想定しての避難訓練のほか、年1回消防署職員の派遣を受けた総合避難訓練を実施しています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	43		・服薬内容や発作等の状況については入園時に確認し、変更があった場合には保護者様に確認させていただいています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	43		・主治医の指示書に基づき、アレルギー食品については除去を基本として給食提供を行っています。 ・給食提供に伴い、保護者様と献立について、アレルギーの確認を実施しています。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	42	1	・ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で原因究明及び再発防止に努めています。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	43		・年数回の職場内研修を実施しています。またお子様への適切な支援を常に心がけるため、虐待防止セルフチェックを年2回職員で行い、園として防止対策の共有を図っています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	41	2	・椅子に座り続ける事が苦しいお子様の場合など、状況により課業に集中して参加いただくよう職員が抱きとめ支援させていただく場合がございます。その際には保護者様に事前にご説明、ご了承をいただくようにしています。	

○この自己評価結果(公表)は、事業所全体で行った自己評価です。